

対象	小学校中学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学4年 「くらしをまもる」 ・地震からくらしを 守る
教科書	東京書籍等
掲載日	2017.9.2. 朝刊 12版 19面

防災の日

「防災の日」の一日、各地で防災訓練が行われた。全国各地で自然災害が相次いでいることを反映し、訓練の参加者が増加。「その日」を想定し、緊張感を持って訓練に臨んでいた。

心構え
なし

ビル倒壊を想定 県警が救助訓練 県警は南海トラフ巨大地震で倒壊したビルから負傷者を救出する訓練を名古屋市北区福徳町で実施した。実際の災害現場に近づけるため、取り壊しが決まっている建物を使用。「これより進入する」、「緊急地震速報受信中」などの声が飛び交った。



福徳待機宿舎を活用。震度7の地震で五階建てのビルが倒壊し、九人が取り残されたとの想定で、機動隊員ら六十人が参加した。隊員らは階段にはしごを掛け、エンジンカッターで手すりを切断するなどして建物内には「現場を想定した訓練を重ね、あらゆる事態に対処できるように張ったロープで拍架を下ろして救助した。」と話していた。(立石智保)

巨大地震を想定し、ビルからの救助訓練する県警の機動隊員ら＝名古屋市北区で

57万人が一斉にシェイクアウト 職場や家庭などそれぞれの場所で一斉に身を守る行動を取る県の防災訓練「あいちシェイクアウト」には、過去最多だった昨年より十万人以上多い五十七万八千八百八十三人が参加した。

から始め、参加者は事前にインターネット上で登録した。県自治センター(名古屋市中区)では、県職員らが、南海トラフ地震を想定した総合防災訓練の一環として「あいちシェイクアウト」に臨んだ。正午の合図を受け、身をかがめて机の下に一分間、身を置いた。



頭を低くして机の下に隠れる県職員ら＝名古屋市中区の県自治センターで

その場で姿勢を低くして頭を守り、一分間じっとする米国発祥の訓練。県が二〇一三年度

秀章知事は「地震はもちろん、最近は風水害、竜巻も頻発しており、常に緊張感を持つ」と述べた。(中村積一郎)

問1：この記事は二つの防災訓練記事の一つの見出しで表現しています。二つの防災訓練の「想定」に共通しているのは次のどれでしょう。○をつけましょう。

- A : 震度7 B : 竜巻 C : 南海トラフ地震

問2：左の記事には「防災」に関わる「シェイクアウト」という、聞き慣れない用語が出ています。「シェイクアウト」とはどんな意味なのでしょう。

()

問3：実際の記事の見出しには□にどんな言葉が入っていたでしょう。記号に○をつけましょう。

- A : 問題 B : 怠り C: 心配

発展：学校での避難訓練の体験などから、あなたが「防災」についていつも心がけていることを、書きましょう。

【活用にあたって】

4年生で学習する「地震からくらしを守る」の単元では、「大地震が起きたらどんな被害が起こるのかを資料から読み取り、避難訓練を行う意味について関心をもつ」「学校で地震に備えていることや、市や地域の地震対策や工夫について考え、取り組みを理解する」ことがねらいとされています。今回の記事には県自治センターと県警の取り組みが紹介されており、学習のねらいに迫ることのできる最適な資料の一つだろうと考えます。

問3については、どれを選んでも間違いにはならない解答を用意しました。「新聞の見出し」に使われた言葉を選ぶということで補説をお願いします。記事は未学習の漢字も多いので、先生が児童と一緒に読んであげてください。

解答例

問1： C: 南海トラフ地震

問2： その場で姿勢を低くして頭を守り、1分間じっとする訓練

問3： B: 怠り

発展： 学校独自の約束(例：おはしの約束→押さない・走らない・しゃべらない等)などにふれ、まず自らを守ろうとすることが書けていると良い。